

第36回

こどもたちへ

— JFCキッズBOXコンサート —

24人の作曲家によるピアノ&ヴァイオリンコンサート

司会＝朝岡 聡

第1部 ピアノ

ソロ

- ① 武野 晴久／かえりみち
- ② 木下 大輔／ブランコ
- ③ 岡本由利子／こうげんのさんぽみちで
- ④ 板村 博貴／海と少年
- ⑤ 加藤由美子／未来へのとびら
- ⑥ 渡部 賢士／たんぽぽの花
- ⑦ 森谷 光代／子猫のワルツ
- ⑧ 吉岡 愛梨／ホーンテッド パーティー
- ⑨ 喜久 邦博／雨のち曇りのち晴れ



第2部 ヴァイオリン

- ① 嵯場富美子／Pre-きらきら星
- ② 佐藤 眞／ファソラシラソファ
- ③ 萩 京子／いろみずあそび
- ④ 鶴崎 庚一／アダージョ
- ⑤ 大政 直人／マカロンでティータイム
- ⑥ 今村 央子／春の野原にて
- ⑦ 鈴木 輝昭／ドーリアン・ストリング
- ⑧ 高橋 幸代／木もれびのなかに
- ⑨ 香月 修／スペイン風のワルツII
- ⑩ 菅野 由弘／猫めくる



連弾

- ⑩ 渡邊 宏章／さざ波のワルツ
- ⑪ 中村 彩子／月夜の森 組曲「月夜の森のダンスパーティ」より
- ⑫ 鈴木 豊乃／今夜見る夢は
- ⑬ 竹内 淳／あひる
- ⑭ 鈴木理恵子／お星さま たべちゃった



当日演奏の楽譜は、カワイ出版より発売されます。

2021年 3月14日 日

14:00開演 (13:15開場)

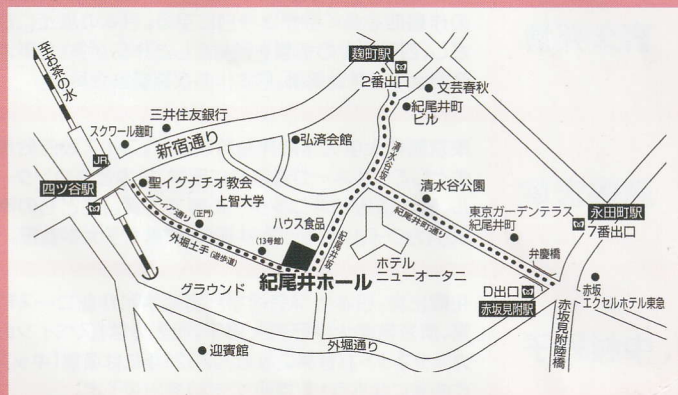


紀尾井ホール

代表電話番号(03-5276-4545)

※4歳以下のお子様のご入場はご遠慮ください。

一般 全席指定 2,500円(消費税込)



●実行委員：森山智宏(委員長)・大政直人・嵯場富美子・鈴木輝昭

●選考協力：嵯場富美子・後藤丹・高橋幸代・永瀬礼佳・加藤明子

●主催：一般社団法人日本作曲家協議会(JFC)

●後援：カワイ出版(株式会社 全音楽譜出版社 カワイ出版部)

一般社団法人日本音楽作家団体協議会(FCA)・特定非営利活動法人日本現代音楽協会

●協力：桐朋学園大学音楽学部附属子供のための音楽教室「仙川教室」・一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ビティナ)

●お問合せ・チケットお取扱い：一般社団法人日本作曲家協議会

☎03-6276-1177 concert@jfc.gr.jp

こどもたちへ

ー JFCキッズBOXコンサート ー

作曲家
プロフィール

武野晴久

愛知県立芸術大学大学院修了。日本歌曲振興波の会作曲コンクール優秀賞。ピアノ・デュオ国際コンクール作曲部門入選。フランスInaGRM参加。カザルス国際音楽祭招待上演ほか。

竹内淳

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。神奈川県芸術祭創作合唱曲コンクール第2位(1位なし)、奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門入選。ソニー・ミュージックから、樋口達哉(Ten.) & 仙台フィル、宮本文昭(ob.) × 5枚、矢部達哉(Vn.) など、CD他作曲、編曲多数。

木下大輔

東京藝術大学大学院修了。日本の音楽展作曲賞など受賞歴多数。作品はアジア作曲家連盟音楽祭、東アジア国際現代音楽祭など国内外で頻繁に演奏されている。現在、宇都宮大学教授、日本教育大学協会全国音楽部門代表。

鈴木理恵子

東京藝術大学作曲科および同大学院修士課程修了。色や映像、光が作曲の発想の源になっています。コロナ禍で音楽活動が制約されるこの時だからこそ、音楽の大切さ、おもしろさ、魅力を改めて伝えていきたいです。

岡本由利子

日本女子大史学科卒。作曲は三人の子育て中独学で始め、鈴木輝昭氏に師事。ピアノ小曲集「母の情景」全音楽譜出版。音楽の友「私とショパン」優秀賞。主にバレエ音楽を作曲。H.P.おんが音楽館omp-office.jp

嵯場富美子

東京藝術大学卒業、同大学院修了。別宮賞、芥川作曲賞受賞。楽譜は全音楽譜出版、カワイ出版、音楽之友社等から出版されている。現在、東京音楽大学教授、日本作曲家協議会、日本現代音楽協会理事他。

板村博貴

国立音楽大学音楽学部作曲学科卒業。室内楽を中心に様々な編成の作品を書いている。主な作品に「バスクラリネットとピアノのために」「管楽合奏曲」などがある。

佐藤眞

1938年生まれ。オペラ、交響曲、協奏曲、交響詩などのオーケストラ曲、室内楽曲、合唱曲、歌曲、吹奏楽曲など作品多数。こどものためのピアノ曲集「翔くんのピアノ・ファンタジー」(カワイ出版)あり。

加藤由美子

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。NHKテレビ体操・ラジオ体操専属ピアニスト。(公財)相模原市民文化財団理事。(一社)日本童謡学会名誉理事。主作品は歌曲集「歳をとるほど大胆になるわ」(カワイ出版)他。

萩京子

1956年東京生まれ。1978年東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。オペラシアターこんにく座代表と音楽監督。主な作品にオペラ「口はロボットの口」「金色夜叉」「アルレッキーノ」など。古今東西の詩によるソングも多い。

渡部賢士

日本作曲家協議会会員。第44回日本音楽コンクール作曲部門第3位。「壊れたトランペット」「ピクニックへ行こう」がピティナピアノコンペティション課題曲として採用。

鵜崎庚一

東京藝大作曲科卒。国立パリ高等音楽院一等賞首席(フーガ)。国立音大教授、院委員長、武音大、お茶の水女子大講師等。国立音大名譽教授。ピアノ歌曲合唱曲等(カワイ出版)。「アナリーゼの技法シリーズ」古典・近代全10冊(学研)。

森谷光代

大阪教育大学特設音楽課程作曲専攻卒業。作曲を野田千秋、物部一郎、ピアノを山田みつ、深美裕子の諸氏に師事。卒業後はヤマハで指導、JOCの編曲や指導に携わる。現在は自宅で、幼児から現役講師まで指導。子供の為の曲を書くのがライフワーク。

大政直人

東京藝術大学大学院作曲科修了。銀座王子ホールの特展CDはレコード芸術誌で特選盤に選定。連弾曲「三つのパリの情景」はYouTubeで5万アクセスを超える。日本作曲家協議会理事、ピティナ正会員、ヴァイオリン指導、大阪芸術大学通信教育部非常勤講師。

吉岡愛梨

東アジア現代音楽作曲コンクール等入賞多数。ミュージカルの作編曲をはじめとした地域に密着した音楽活動を中心に、カナダバンクーバーのVICO音楽祭ジャパニーズフェスティバル招待上演等、幅広く活動している。

今村央子

東京藝術大学作曲科卒業、同大学院ソルフェージュ科修了、パリ国立高等音楽院エクリチュール科、ピアノ伴奏科卒業。作曲、演奏、執筆、講演等幅広く活動中。現在国立音楽大学教授、日本ソルフェージュ研究協議会理事、JFC理事。

喜久邦博

国立音楽大学作曲学科卒業。ピアノ曲及び吹奏楽曲の作編曲を多く手がけ今日に至る。日本の風土に根ざし、四季折々の情景を題材とした作品が多い。東京音楽大学非常勤講師。日本作曲家協議会会員。

鈴木輝昭

桐朋学園大学作曲科を経て同研究科修了。日本音楽コンクール第1位(第46回)、第2位(第51回)の他、日本交響楽振興財団第7回作曲賞等多数受賞。合唱作品が出版、CDリリースされる。現在、桐朋学園大学音楽学部教授。

渡邊宏章

東京藝術大学大学院作曲専攻修了。スイス政府給費生としてジュネーヴ音楽院に留学。日本音楽コンクール、宮城道雄記念コンクール等で入賞。「こどもの歌93」(カワイ出版)などを共編著。鎌倉女子大学教授。

高橋幸代

東京藝術大学作曲科卒業、同大学院を首席で修了。同大学非常勤講師、特任研究員等を経て現在フリー。室内楽から管弦楽まで幅広い作曲編曲を手がけ、作品は国内外の多数のコンサートやテレビ番組等で演奏されている。

中村彩子

札幌出身。日本大学芸術学部音楽学科作曲コース卒業、東京音楽大学研究生修了。代表作は「スペインのカスタネット」(音楽之友社)。2021年には著書「キッズ作曲家になろう!」(学研プラス)を出版予定。

香月修

桐朋学園大学作曲科卒。作品はソロ、室内楽、歌曲等多数。2013年には新国立劇場委嘱のオペラ「夜叉ヶ池」を同劇場で初演。また2017年に全音から出版された「ツグミの森の物語」は各コンクールでも課題曲となっている。

鈴木豊乃

国立音楽大学作曲学科卒業。同大学院修了。日本作曲家協議会会員。ソリストへの作品提供、コンサートやCDのアレンジを多く手がける一方、こども向けの作品制作や楽譜出版も意欲的に行っている。

菅野由弘

東京藝術大学修了。モナコ・フランスピエール作曲賞、イタリア放送協会賞、創造する伝統賞受賞。作品は太陽の記憶「卑弥呼」、「星雲光響2020」、NHK大河ドラマ「炎立つ」。現在早稲田大学教授。日本作曲家協議会会長。